

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 吉田光男 副委員長 坂地泰紀・小早川 健
幹事 光田 航・石野亜耶 幹事補佐 高橋寛治・小川泰弘

日時 3月18日(土) 10:00~17:05

会場 沖縄科技大・カンファレンス・センター会議室1 (国頭郡恩納村字谷茶1919-1. <https://www.oist.jp/ja/campus/access-map> 小川泰弘(名大))

議題 言語処理の産業・社会応用, 及び一般

午前 学習・推定(10:05~12:05)

NLC-1. トピックモデルによる植物根圏細菌叢解析 ○真壁勇那・山村雅幸(東工大)

NLC-2. 分散・共分散正規化を用いたニューラルトピックモデルの対照学習

○平見健悟・許 蔚然・江口浩二(広島大)

NLC-3. 化学工学関連論文の命名法に基づく変数定義予測手法 ○加藤祥太・加納 学(京大)

NLC-4. 生成型 Low-resource 固有表現認識における固有表現ラベル分散表現の推定法

○澤田悠治(奈良先端大)・寺西裕紀(理研)・大内啓樹(奈良先端大)・松本裕治(理研)・渡辺太郎(奈良先端大)

NLC-5. 日本語知識グラフを用いた質問応答システムの構築とグラフサイズの影響の検証

○矢野一樹・ラファウ ジェブカ・荒木健治(北大)

NLC-6. 事前学習済み言語モデルを用いた問診データからのパーキンソン病患者の検出

○早津藍一郎・笹野遼平・武田浩一(名大)

午後 招待講演(12:50~14:50)

7. 企業の言語処理の楽しいところ・難しいところ 颯々野 学(ヤフー)

8. 最先端の質問応答技術の研究開発と迅速な実用化—Studio Ousia での取り組み— 山田育矢(Studio Ousia)

9. 自然言語処理の基礎的解析器とその実用—言語と向かうことの価値— 金山 博(IBM)

分析・生成(15:00~17:05)

NLC-10. ESG パフォーマンスとナルシズム文章との関係

○中尾悠利子(関西大)・石野亜耶(広島経済大)・岡田華奈(大阪経済大)・岡田 斎(広島経済大)

NLC-11. In-Context Learning における事例の順番に関する分析 ○喜友名朝視(都立大)

NLC-12. 文書分類における効果的なマルチタスク学習のための汎用的サブタスクの要件分析

○木村優介(同志社大)・駒水孝裕(名大)・波多野賢治(同志社大)

NLC-13. 短歌における自然言語生成の受容と有用性の検討

○浦川 通・新妻巧朗・田口雄哉・田森秀明(朝日新聞)・岡崎直観(東工大)・乾 健太郎(東北大/理研)

NLC-14. アテンションプーリングと対照学習による長文要約 ○加茂 司・杉本 徹(芝浦工大)

NLC-15. 自由記述文による声質制御に向けた in-the-wild 文データ収集法

○渡邊亜椰・高道慎之介・齋藤佑樹・猿渡 洋(東大)

◆情報処理学会; 自然言語処理研究会連催

【問合先】

NLC 研究会幹事団

E-mail: nlc-inquiry@pluto.ai.kyutech.ac.jp